

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15105003	細胞内及び膜界面の分子を可視化する新手法の創案と展開	梅澤 喜夫 (武蔵野大学・薬学研究所・客員教授)	A
<p>一連の研究は高いレベルの成果を出しており、生きた乳がん細胞中でのがん増殖酵素の確認法を開発するなど、一般的にも認められる高い成果を引き出している。但し、全体の成果を統一的にまとめるという点ではやや弱い。</p>			